

知性の磨き方を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

①こんにちは開倫塾の塾長林明夫です。

今回も開倫塾の時間を聞いて頂いて有り難うございます。

お陰様でこの番組はなんと、15 年目になりました。15 年間番組を続けさせて頂いて有り難うございます。1 年間に 52 週ですから、もしかしたら、750 から 800 回位皆さんに聞いて頂いているかもしれません。本当に私の拙（つたな）い話を聞いて頂いてありがとうございます。

②今日は少し、話を変えて、知性の磨き方、なぜ知性を磨かなくてはならないのかを考えます。これは、今現在、経済が本当に大変な時代だからです。景気が後退し、少しずつ不況が深刻になってきています。それにデフレが重なっています。そうしますと消費者、物を買う人は行き先不安と物あまりのために、極端に消費を控えるようになりました。物やサービスを徹底的に比べながら購入するようになった。これを「比較購買」といいます。定価の 3 分の 2 から 3 分の 1 位まで値下げをするようになった。これを「価格破壊」と言います。このような「比較購買」と「価格破壊」が蔓延（まんえん）しています。

③これに加えて、「過剰サービス」。同じ価格 100 円で売っていてもプラス α がついて、「過剰サービス」が蔓延しています。そうなりますと、会社、企業は大幅な「売り上げ減」で、「業績不振」に陥ってしまいます。そして、「正社員の方にパートになってくださいということをお願いする」会社が大変多くなってきました。それだけでは不足、今度は、「パートの方も辞めて頂く」という会社も多いようです。そうしないと一気に「倒産」という事態になるからです。これが良い悪いという話ではなく、現実にはそのような会社が非常に多いということです。現在は日本がこの何十年間に体験したことのない、経済がとても大変な時代です。

④ではどうしたら、この経済が大変な時代を過ごせばいいか。「今後どのような時代が続くのか」を含め、「今がどんな時代なのか」私も含め、皆さんも自分自身でしっかりと勉強することが、まずは大事です。難しい言葉でいうと、「時代認識」ということです。「今はどういう時代かということの正確な時代認識を持つ努力」を自分でするしかない。

⑤経済学の教科書を随分読みましたが、「デフレ」とか「デフォルト」、「債務免除」「預金封鎖」とか、書いてある本は非常に少ないです。500 頁の本でたった5～6行。1 頁書いてある教科書は多い方でした。今の時代の「デフレ」、「景気後退」とかについて書いてある教科書は非常に少ない。ですから、「自分自身で時代認識を持つ」必要があるということです。

⑥そこでどのような形でやったら良いかというと、一番簡単なのは、毎日配達される「新聞」です。このような時代ですから、できれば「一面からゆっくりかみしめるように新聞を読む」ことをお勧めします。もし、関心のある分野が一つか二つありましたら、テーマに沿って1 週間に1 回か2 回位、日付を入れながら切り抜いて頂いて、これを使い古しのノート、いらなくなった紙等に貼って、「新聞の切り抜きのスクラップシート」を作ってお菓子などの箱などにためておくと思います。

⑦そのスクラップシートを作ったら、焦ることなくゆっくり読み直してみる。時代は戻らないので、焦ることはありません。ゆっくり読み直しながら物事を深く、深く考える訓練をしたらいいと思います。新聞のスクラップを読み直して、ある程度興味や関心が深まったテーマがあったら、次に本屋さんや図書館に行って、あまり厚くなくて読めそうな「入門的な本」を探して購入、または借りてきて、1. 2 週間から1 ヶ月位かけてゆっくり、ゆっくり読むことをお勧めします。そうしますと、新聞の内容にかなりプラスし、問題意識が高まります。その後、「少し専門的な本」が読み終わればかなり考える力がついてくると思います。

⑧読み終わった本の中に1 つでも2 つでも気に入った文章があれば、お気に入りのノートを1 冊用意して頂き、「書き抜き読書ノート」と名付けて、そっくり1 行でも2 行でも自分で感動したところ、ふに落ちたところ、いいなと思ったところを書き抜いてください。もし、スクラップした新聞記事に深く心を動かされた文章があれば、それも書き抜き読書ノートに1 行でもいいから書き写しておいてください。書き抜き読書ノートは時々でいいですから、繰り返し、繰り返し読むことをお勧めします。そうすることによって、腰を落ち着けて深く物事を考える訓練が出来ます。こういう訓練が経済が大変な時代にどういう効果があるかといいますと、誰も助けてくれない大変な時代ですから、自分の力で物事を考える力が出来てくるわけです。私はどのようにこの時代に合わせて生きることが出来るかということを深く考える事ができます。

⑨新聞をテレビ欄から読んで、楽しくテレビを見た後はそのまま眠ってしまうというような生活をしてしまうと、もしかして、このような経済「知識社会」といいますか、ナレッジソサエティ(knowledge society)でありますから、知性を磨き続けて、知識社会に備えることが大事なかなと思います。どんなふうに自分自身の知識、知恵、知性を磨くか、子供達の知性をどんなふうに磨けばいいのか、是非皆さんにも考えて頂ければと思います。今日は知性を磨くにはどのようにしたらいいのかという話をさせて頂きました。是非、少しずつでいいですからお考え下さい。